

株式会社地域協働推進機構のノウハウ移転事業について

1. 事業モデル名：地域協働プラットフォーム構築支援事業

2. 事業者の概要

補助事業者名：株式会社 地域協働推進機構

所在地：埼玉県鶴ヶ島市富士見1-2-1 市民活動推進センター

取り組んでる社会的課題：協働によるまちづくりの推進、「新しい公共」の創造、社会的企業の育成・支援

課題への取組：テーマ特化型SNSの地域協働ポータルサイト「TOWNTIP」の開発やインキュベーション施設の開設により、多様な主体が集まり、地域プロジェクトを創発する機会や空間を提供し、コミュニティビジネスの振興に取り組んでいる。

3. 事業モデルの革新的な点・成功の秘訣：地域の様々な主体が連携・協働しながら、コミュニティビジネスの共創・創発を図るための基盤として、ソフト（情報基盤）とハード（まちづくりの総合拠点）のプラットフォームを一体的に構築・運営する点。提供するSNS及び開発した拠点施設が、各施設間でネットワーク化され、それらが連携していくことで、全国の社会課題やコミュニティビジネスの先進事例（グッドプラクティス）を共有することが可能となり、効率・効果的な波及が期待できる。

4. 移転先：

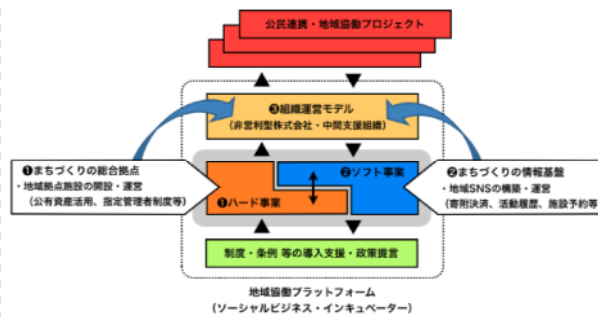
ソーシャルイノベーション研究会（神奈川県横浜市）：「関内・関外活性化」の拠点整備のモデル事業として事業化を目指している。

市民フォーラム21NPOセンター（愛知県名古屋市）：NPO支援に豊富な実績を有しており、ノウハウ移転による相乗効果に期待。

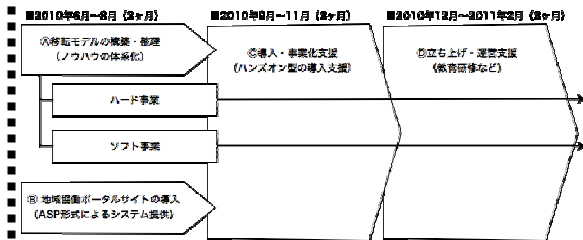
京都リサーチパーク㈱（京都府京都市）：既存のベンチャー支援に加え、当移転モデルを実施する実効的な展開力を持っている。



テーマ特化型SNS「TOWNTIP」



事業モデルイメージ



平成22年度ロードマップ